

四街道市一般廃棄物処理基本計画  
令和3年度年次報告書

令和4年12月

四街道市環境経済部廃棄物対策課

## はじめに

四街道市(以下「本市」という。)は、平成 21 年に、「一般廃棄物処理基本計画(前計画)」を策定しました。この計画では、平成 27 年度を中期目標年度、平成 35 年度(令和 5 年度)を長期目標年度とし、ごみ処理では「3Rの推進を中心とした廃棄物の減量化」を、生活排水処理では「生活排水処理率 100%」を目指し、ごみ処理及び生活排水処理事業を実施してまいりました。

平成 25 年に「第三次循環型社会形成推進基本計画」が定められたことなど社会情勢の変化を鑑み、環境省も概ね 5 年ごとの見直しを推奨していることから、後期計画の開始年度の予定としていた平成 28 年度に、同年度から平成 37 年度(令和 7 年度)までの 10 年計画として、ごみ、生活排水それぞれで「3つの基本方針」と数値目標を定め、その達成に向けて具体的な取組を示した「一般廃棄物処理基本計画(以下「本計画」という。)」を新たに策定しました。

計画開始から令和 2 年度までの 5 年間の中で、家庭系ごみの減量に向けた取組として、生ごみたい肥化を実践する生ごみ減量化モニター事業をはじめ、「食材使いきり料理」の販売、レシピカードの配布等による啓発、家庭系ごみ処理手数料制度の導入等を行いました。また生活排水処理に関する取組として、下水道や高度処理型合併処理浄化槽の普及の推進、河川清掃等の環境美化活動への協力等を行いました。

そして、計画策定から 5 年が経過する間に、国は「プラスチック資源循環戦略」を令和元年に策定し、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」(容器包装リサイクル法)の関係省令の改正によるレジ袋の有料化を実施しました。民間企業においても、持続可能な開発目標(SDGs : Sustainable Development Goals)を達成するために、環境保全に関連する施策を積極的に取り入れたりしています。また、食品ロスについても、2019 年(令和元年)10 月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」が 2020 年(令和 2 年)3 月に閣議決定されました。

このように社会全体で地球環境に関する意識が年々高まっていることから、計画策定時に定めたごみ排出量や生活排水処理に関する数値目標等を改めて検証した上で見直すとともに、「3つの基本方針」について、新たな取組等を追加し、令和 3 年 9 月に中間見直しを行いました。

この報告書は、本計画を推進するために行う進行管理として、令和 3 年度における取組について点検・評価を実施し、その結果を年次報告として取りまとめたものです。

## 目 次

第1章 計画の点検・評価について	
1 計画実現への取組	2
2 点検・評価の対象	3
3 点検・評価の方法	3
第2章 施策の実施状況について（ごみ）	
基本方針1 2Rを意識した3Rの推進	5
1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進	
1-2 3R推進のためのしくみづくり	
基本方針2 市民・事業者・行政の協働	12
2-1 市民の取組	
2-2 事業者の取組	
2-3 行政の取組	
基本方針3 適正処理の構築	17
3-1 収集・運搬の検討	
3-2 中間処理施設の整備	
3-3 最終処分の検討	
3-4 適正な事業経営の推進	
第3章 施策の実施状況について（生活排水）	
基本方針1 生活処理排水の推進	23
1-1 公共下水道の普及	
1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及	
基本方針2 市民・事業者・行政の協働	25
2-1 市民の取組	
2-2 事業者の取組	
2-3 行政の取組	
基本方針3 適正維持管理の推進	28
3-1 適正な収集・運搬体制の維持	
3-2 中間処理施設の適正管理	
第4章 指標の進捗状況の評価	30
第5章 まとめ	40



## 第1章

### 計画の点検・評価について

## 1 計画実現への取組

本計画では、一般廃棄物処理のカテゴリを「ごみ」と「生活排水」の2項目に大きく分類し、それぞれの基本理念の下、基本方針を定め、計画実現のための施策・取組を定めています。

### ●計画実現への取組（ごみ）●

基本理念	
循環型社会形成推進に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、環境にやさしいまちの実現へ ～捨てる、でも減らす ごみ 10%削減に挑戦～	
基本方針	中心となる施策
1 2Rを意識した3Rの推進	1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進
	1-2 3R推進のためのしくみづくり
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組
	2-2 事業者の取組
	2-3 行政の取組
3 適正処理の構築	3-1 収集・運搬の検討
	3-2 中間処理施設の整備
	3-3 最終処分の検討
	3-4 適正な事業経営の推進

### ●計画実現への取組（生活排水）●

基本理念	
水環境の保全に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、 環境にやさしいまちの実現へ ～生活排水処理率 100%に挑戦～	
基本方針	中心となる施策
1 生活排水処理の推進	1-1 公共下水道の普及
	1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組
	2-2 事業者の取組
	2-3 行政の取組
3 適正維持管理の推進	3-1 適正な収集・運搬体制の維持
	3-2 中間処理施設の適正管理

## 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、第2章及び第3章で示す施策及び第4章で示す本計画の指標の進捗状況としました。

## 3 点検・評価の方法

第2章及び第3章で、施策の進捗状況について点検を行い、個別評価と総合評価として以下のとおり4段階で評価しました。

- ◎：実施又は実施中（順調に進捗している）
- ：実施又は実施中（改善の余地あり）
- △：実施に向け準備中
- ：調査検討中又は未実施

また、第4章での指標の進捗状況については、年度ごとの数値目標と比較して、第5章にて以下のとおり4段階で評価しました。

- ◎：年度の数値目標に達している
- ：年度の数値目標に達していないが、前年度より目標年度の数値に近づいている
- △：年度の数値目標に達しておらず、横ばいである
- ：年度の数値目標に達しておらず、前年度より目標年度の数値から遠ざかっている





## 第2章

### 施策の実施状況について（ごみ）

## 基本理念・方針

ごみ処理基本計画体系は、基本理念として「循環型社会形成推進に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、環境にやさしいまちの実現へ ～捨てる、でも減らす ごみ10%削減に挑戦～」を掲げ、基本理念を達成するため「2 Rを意識した3 Rの推進」と「市民・事業者・行政の協働」、「適正処理の構築」の3つの基本方針を示します。

循環型社会形成推進は、ものを大切に使い、ごみの発生を抑える(リデュース)、今あるものを繰り返し使う(リユース)、資源をもう一度原料として使う(リサイクル)等3 Rを中心に市民・事業者・行政がそれぞれの役割を分担し、協働して取り組むことが大切です。

そして、近年は天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減していくためには、この3 Rの中でもリサイクルに先立って2 R(リデュース、リユース)を可能な限り推進して取り組んでいくことの重要性が提唱されています。

また、排出されたごみや資源を適正に収集・運搬、中間処理し、最終処分することが大切です。そのためには、適正処理の構築が必要となります。このような考え方で計画の体系を整理しました。3つの基本方針のもとで実施する各施策を21に集約して示します。

### 【基本方針1 2 Rを意識した3 Rの推進】

#### 【1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進】

##### (1)3 Rに関する意識啓発活動の推進(計画書P62)

施策内容	①3 R意識の向上のための広報活動の実施	
具体的な取組状況	1)市政だよりや市HP等において3 Rの取組を啓発	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)市政だよりに「クルちゃんのごみの話」を年間6回掲載 (令和2年度:年6回掲載)	◎
総合評価	◎	

(2) 発生抑制・再使用の更なる推進（計画書 P62）

施策内容	①発生抑制・再使用の推進に繋がる意識啓発の実施	
具体的な取組状況	<p>1)リサイクルショップ・フリーマーケット活用の奨め （不要品の出品、再使用目的品の購買による再使用の推進）</p> <p>2)リユース品交換制度活用の奨め （不要品の提供、利用による再使用の推進）</p> <p>3)食品ロス削減に係る意識啓発の実施 （四街道市食べきり協力店事業、市内高等学校との連携によるイベント時の使いきり料理の販売、レシピの提供）</p> <p>4)生ごみリサイクルの意識啓発の実施 （生ごみ処理容器、発酵資材等の提供）</p>	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	<p>1)リユース品情報コーナーをHPに掲載し啓発 フリーマーケット（青空バザール）は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となったため、実施されず</p> <p>2)リユース品情報コーナー実績(登録件数/成立件数) [譲ります]: 49件/12件（令和2年度：106件/51件） [譲って下さい]: 23件/2件（令和2年度：34件/7件）</p> <p>3)イベントで市内高等学校と連携し、普段廃棄される野菜等を活用して、製作したカップケーキ等を200食を販売 （令和2年度：うどんの切れ端や廃棄される野菜等を活用して、製作したピザ70食、スープ40食を販売） 市HPで紹介した応募レシピ数：3件（令和2年度：1件） 食べきり協力店登録店舗数：25店舗（令和2年度：11店舗）</p> <p>4)生ごみ処理容器・発酵資材の配布人数：17人（令和2年度：28人）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p>
総合評価	○	

施策内容	②発生抑制・再使用の推進のための制度の継続、充実、導入	
具体的な取組状況	1)家庭系ごみの処理手数料制度の導入(令和2年9月1日より導入) 2)リユース品交換制度の継続、更なる充実 3)良質な粗大ごみの補修・販売制度の導入 4)フードドライブの実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)家庭系ごみ排出量：18,528t（令和2年度：19,596 t） 前年度比 Δ1,068 t（Δ5.45%） 2)リユース品情報コーナー実績(登録件数/成立件数) [譲ります]：49件/12件（令和2年度：106件/51件） [譲って下さい]：23件/2件（令和2年度：34件/7件）(再掲(2)-①) 3)良質な粗大ごみの補修・販売制度に関する導入の検討 （今後の対応） 他自治体で開設しているリサイクルプラザを参考にするなど、次期ごみ処理施設整備と一体で検討 4)缶詰等食材454点をフードドライブとして受付(令和2年度：190点)	◎           ◎
総合評価	○	

(3) 資源化の推進（計画書 P62）

施策内容	①資源化の推進に繋がる意識啓発の実施	
具体的な取組状況	1) 集団回収への協力要請 2) 雑がみ分別の広報等 3) プラスチック・ビニール類の更なる減量化、再資源化への取組 4) 公共施設 10 カ所での小型家電の拠点回収	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1) 集団回収事業実施団体：61団体（令和2年度：63団体） 回収量：783t（令和2年度：783t） 実施団体への補助金額：4,049,710円（令和2年度：4,072,815円） 四街道市再資源化事業協同組合への補助金額：7,964,188円 （令和2年度：9,540,040円）  2) 市政だより及び市HPに雑がみ分別の啓発記事を掲載 ちばユニバーサル農業フェスタにて、雑がみ保管袋を配布：50枚 雑がみ排出量：315.11t（令和2年度：289.35 t） 前年度比    25.76 t（8.9%増）  3) 市役所等でペットボトルキャップを回収：1,092.1kg （令和2年度：1,440.5kg） 令和4年4月より施行される「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」でのプラスチック製品の回収ルート構築の検討  4) 小型家電の拠点回収：0.76t（令和2年度：0.6 t）	◎                 ○                 ○                 ◎
総合評価	◎	

【1-2 3R推進のためのしくみづくり】

(4) 発生抑制・再使用のための側面支援（計画書 P63）

施策内容	①市民・事業者の発生抑制のための自発的活動の側面支援 (市民団体の生ごみたい肥化事業、情報提供支援、生ごみ処理容器・発酵資材の提供)	
具体的な取組状況	1) 生ごみのたい肥化に関心を持ってもらうため、生ごみ処理容器・発酵資材を配布 2) 自発的活動を促進するための情報提供	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1) 生ごみ処理容器・発酵資材の配布人数：17人（令和2年度：28人）(再掲(2)-①)  2) 市政だよりに「クルちゃんのごみの話」を年間6回掲載 （令和2年度：年6回掲載）(再掲(1)-①)	○                 ◎
総合評価	◎	

施策内容	②エコショップ制度の側面支援	
具体的な取組状況	1)ごみの減量・リサイクルを進める取組として、牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行っている小売店を「エコショップ」として認定し、市HPで紹介	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)エコショップ認定店舗数：6店舗（令和2年度：6店舗）	○
総合評価	○	

施策内容	③事業系ごみの分別の徹底及び資源ごみの自己処理の要請	
具体的な取組状況	1)事業系ごみの展開検査を実施し、搬入物について届出内容と相違がないか確認し、不適正な搬入に対して分別指導	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)展開検査数及び指導件数：10件/8件（令和2年度：実施なし）	○
総合評価	○	

施策内容	④家庭系ごみの処理手数料制度の導入(令和2年9月1日より導入)	
具体的な取組状況	1)家庭系ごみの排出を抑えるため、処理手数料制度を導入	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)家庭系ごみ排出量：18,528t（令和2年度：19,596t） 前年度比 △1,068t（△5.45%）（再掲(2)-②）	◎
総合評価	◎	

施策内容	⑤拡大生産者責任の明確化	
具体的な取組状況	1)本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じて、生産者責任法の整備と事業者責任の強化について国に要望	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)生産者責任法の整備と事業者責任の強化について賛同し国に要望（令和4年2月）	○
総合評価	○	

施策内容	⑥リユース品の交換制度の充実	
具体的な取組状況	1)市HPを通じた広報	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)リユース品情報コーナー実績(登録件数/成立件数) [譲ります]: 49件/12件(令和2年度: 106件/51件) [譲って下さい]: 23件/2件(令和2年度: 34件/7件)(再掲(2)-①、(2)-②)	○
総合評価	○	

施策内容	⑦食べきり協力店制度の側面支援	
具体的な取組状況	1)市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い、「食べ残しゼロ」を啓発	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)食べきり協力店登録店舗数: 25店舗(令和2年度: 11店舗)(再掲(2)-①)	◎
総合評価	◎	

施策内容	⑧雑がみ分別の支援	
具体的な取組状況	1)雑がみを分別し排出することを周知 2)雑がみの回収方法の検討	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)市政だより及び市HPに雑がみ分別の啓発記事を掲載 ちばユニバーサル農業フェスタにて、雑がみ保管袋を配布: 50枚 雑がみ排出量: 315.11t (令和2年度: 289.35t) 前年度比 25.76t (8.9%増) (再掲(3)-①) 2)雑がみの回収方法について検討 雑がみを排出しやすいように、専用袋をごみ集積所に配布し、回収する方向で検討	○      △
総合評価	○	

(5) 資源化のための側面支援（計画書 P63）

施策内容	①広報手法や広報媒体の充実	
具体的な取組状況	1)ごみ分別促進アプリケーション「さんあ〜る」の配信 2)「さんあ〜る」ウェブ版の配信 3)「さんあ〜る」外国語版(4カ国語)を掲載 4)プレスリリースの実施（産業まつりにおいて、食品ロス削減のための食材使いきり料理の販売を行うことについて）	
担当部署	クリーンセンター、廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1・2・3)「さんあ〜る」登録件数：3,523件 （令和2年度：1,484件） 1・2・3)「さんあ〜る」外国語版登録件数：91件 （令和2年度：42件） 4)プレスリリースは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から産業まつりが中止となったため、実施できず	◎    △
総合評価	◎	

施策内容	②使用済みインクカートリッジの回収	
具体的な取組状況	1)市役所ロビーに使用済みインクカートリッジ回収箱を設置	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)インクカートリッジ回収量：51.63kg(1,721個) （令和2年度：17.7kg） ※インクカートリッジ回収業者が変わったことにより、回収重量の測定方法を変更(1個30gで計算)	◎
総合評価	◎	

施策内容	③廃乾電池の拠点回収の試行実施	
具体的な取組状況	1)市役所廃棄物対策課にて廃乾電池を回収	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)令和3年4月に廃棄物対策課にて廃乾電池の拠点回収の試行実施。10月より正式に実施	◎
総合評価	◎	



【基本方針2 市民・事業者・行政の協働】

【2-1 市民の取組】

(6) 循環型社会を構築するためのライフスタイルの転換（計画書 P64）

施策内容	①もったいない意識を常に心がける	
具体的な取組状況	1)3キリ（食材の使いきり、食べきり、水きり）について広報 2)フードドライブ事業の実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)ちばユニバーサル農業フェスタでの食材使いきり料理の販売や水きりネットの配布 市HPでの食品ロス削減啓発や食べきり協力店の募集を広報 2)缶詰等食材454点をフードドライブとして受付(令和2年度：190点) (再掲(2)-②)	◎   ◎
総合評価	◎	

施策内容	②ごみの減量化、資源化等の環境問題に関心を持つ	
具体的な取組状況	1)団体向け出前講座の実施 2)小学校の総合学習授業での「ごみの減量と分別講座」の実施 3)小学生を対象としたクリーンセンター施設見学会の実施 4)中学生を対象としたクリーンセンターでのプラスチック・ビニール類の手選別等の体験学習会の実施	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)講座の実施回数：0回（令和2年度：0回）※ 2)総合学習授業の実施回数：3回(四和小学校4年生3学級) (令和2年度：3回) 3)施設見学会開催回数：9回（令和2年度：0回） 4)体験学習会の実施回数：0回（令和2年度：0回）※ ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施できず	△ ◎ ◎ △
総合評価	◎	

施策内容	③市民団体の生ごみたい肥化事業等への参加	
具体的な取組状況	1)生ごみのたい肥化に関心を持ってもらうため、たい肥化容器等を配布	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)生ごみ処理容器・発酵資材の配布人数：17人（令和2年度：28人）(再掲(2)-①、(4)-①)	○
総合評価	○	

## (7) 分別排出への協力（計画書 P64）

施策内容	①分別を徹底し、異物混入を防止	
具体的な取組状況	1)分別が不十分なまま集積所に排出されているごみについて、違反シールを貼付し、分別徹底を促す	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)シール貼付枚数：約10,750枚（令和2年度：約10,000枚）	○
総合評価	○	

施策内容	②雑がみを資源化するための分別の徹底	
具体的な取組状況	1)雑がみを分別し排出することを周知 2)雑がみの回収方法の検討	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)市政だより及び市HPに雑がみ分別の啓発記事を掲載 ちばユニバーサル農業フェスタにて、雑がみ保管袋を配布：50枚 雑がみ排出量：315.11t（令和2年度：289.35t） 前年度比 25.76t（8.9%増）（再掲(3)-①、(4)-⑧） 2)雑がみの回収方法について検討 雑がみを排出しやすいように、専用袋をごみ集積所に配布し、 回収する方向で検討(再掲(4)-⑧)	○       △
総合評価	○	

## (8) 不法投棄防止への協力（計画書 P64）

施策内容	①不法投棄防止の視点での監視、通報の協力	
具体的な取組状況	1)不法投棄禁止看板の設置 2)不法投棄のパトロール 3)市民や自治会、他部署からの通報を受けての現地確認	
担当部署	廃棄物対策課、環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)不法投棄禁止看板設置・配付本数：66本（令和2年度：45本） 不法投棄禁止ラミネート配付枚数：10枚（令和2年度：10枚） 2)週4回程度パトロールを実施 3)現地確認件数：126件（令和2年度：145件）	○   ○ ○
総合評価	○	

【2-2 事業者の取組】

(9) 自己処理の原則に基づくごみ排出量減量化への協力（計画書 P64）

施策内容	①ごみの減量化、資源化計画の策定及び実施	
具体的な取組状況	1)四街道市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第5条に規定する多量排出者に該当する者等がいた場合における減量化、資源化計画の策定及び提出の指示	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)該当者なし	◎
総合評価	◎	

(10) 拡大生産者責任による製品の製造・販売への配慮（計画書 P64）

施策内容	①不要となった製品の環境負荷に及ぼす影響が最小となる再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性を配慮して製品の製造・販売	
具体的な取組状況	1)本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性の配慮について国に要望	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性の配慮について賛 同し、国に要望(令和4年2月)	○
総合評価	○	

(11) 環境保全・資源保全に関する取組の公表（計画書 P64）

施策内容	①環境保全・資源保全に関する取組の公表	
具体的な取組状況	1)ごみの減量・リサイクルを進める取組として、牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行っている小売店を「エコショップ」として認定し、市HPで紹介 2)市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い、「食べ残しゼロ」を啓発	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)エコショップ認定店舗数：6店舗（令和2年度：6店舗）（再掲(4)-②） 2)食べきり協力店登録店舗数：25店舗（令和2年度：11店舗）（再掲(2)-①、(4)-⑦）	◎
総合評価	◎	

【2-3 行政の取組】

(12) 本計画の基本理念及び基本方針の周知（計画書 P64）

施策内容	①ごみ処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者に周知と行政の積極的行動	
具体的な取組状況	1)基本理念及び基本方針を、市HPで紹介	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)四街道市一般廃棄物処理実施計画を4月1日付けで策定し、市HPにて公表	◎
総合評価	◎	

施策内容	②拡大生産者責任の働きかけを行う	
具体的な取組状況	1)本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、生産者責任法や事業者責任の強化について国に要望	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)生産者責任法の整備と事業者責任の強化について賛同し国に要望（令和4年2月）（再掲(4)-⑤）	○
総合評価	○	

施策内容	③出前講座等による市民・事業者への積極的な啓発活動を継続	
具体的な取組状況	1)団体向け出前講座の実施 2)小学校の総合学習授業での「ごみの減量と分別講座」の実施 3)小学生を対象としたクリーンセンター施設見学会の実施 4)中学生を対象としたクリーンセンターでのプラスチック・ビニール類の手選別等の体験学習会の実施	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)講座の実施回数：0回（令和2年度：0回）※（再掲(6)-②） 2)総合学習授業の実施回数：3回（四和小学校4年生3学級）（令和2年度：3回）（再掲(6)-②） 3)施設見学会開催回数：9回（令和2年度：0回）（再掲(6)-②） 4)体験学習会の実施回数：0回※（令和2年度：0回）（再掲(6)-②） ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施できず	△ ◎ ◎ △
総合評価	◎	

(13) 計画達成のための具体的施策等の実践（計画書 P64）

施策内容	①ごみ削減アイデア、実践事例を市民・事業者から広く募集し、応募者との意見交換等の交流をとおして情報の共有を行い、実践事例等を市のホームページや産業まつり時に紹介	
具体的な取組状況	1)生ごみのたい肥化に関心を持ってもらうため、たい肥化容器等を配布 2)食品ロス削減のため、食材使いきりレシピの募集及び応募作品の公開	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1) 生ごみ処理容器・発酵資材の配布人数：17人（令和2年度：28人）（再掲(2)-①、(4)-①、(6)-③） 2)市HPで紹介した応募レシピ数：3件（令和2年度：1件）（再掲(2)-①）	○ ◎
総合評価	◎	

【基本方針3 適正処理の構築】

【3-1 収集・運搬の検討】

(14)状況の変化に対応した収集・運搬の検討（計画書 P65）

施策内容	①家庭系ごみ処理手数料制度導入時の戸別収集の検討	
具体的な取組状況	1)制度を導入している自治体を参考に、収集に関する様々な観点から検証を行い、本市で実施する場合の課題や問題点等について調査研究を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)家庭系ごみ処理手数料制度を導入したが、戸別収集に向けては、本市で実施する場合における課題について他市の事例を参考に調査・研究 (今後の対応) 収集面の課題、経費等を算出し検討	□
総合評価	□	

施策内容	②粗大ごみの処理券の導入の検討	
具体的な取組状況	1)粗大ごみの処理手数料を「納付書方式」から事前に処理券を購入してもらう「シール券方式」に変更することで、滞納を防ぐなど効率的な業務管理の実施に向けた検討	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)処理料金は概ね現状のまま、シール券方式に移行する方針を決定	◎
総合評価	◎	

施策内容	③プラスチック・ビニール類の一括回収	
具体的な取組状況	1)令和4年4月から施行される「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、プラスチック・ビニール類の一括回収の実施を検討	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)他市の状況の調査、及び収集業者・中間処理業者の調査 (今後の対応) クリーンセンターと調整し、回収体制の整備を検討	□
総合評価	□	

(15) 環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P65）

施策内容	①低公害型車両の導入誘導	
具体的な取組状況	1)収集業者に対して、低公害型車両の導入を推奨 ※マイルドハイブリッド収集車両の使用	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)マイルドハイブリッド収集車両：4台（全車両27台中14.8%）	◎
総合評価	◎	

【3-2 中間処理施設の整備】

(16) 新ごみ処理施設の整備の検討（計画書 P65）

施策内容	①循環型社会推進のためのごみ処理システムの決定	
具体的な取組状況	1)次期ごみ処理施設の稼働に備え、方針の再構築中	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)次期ごみ処理施設の稼働に備え、方針の再構築中 （今後の対応） ごみ処理の広域化を含めたあらゆる可能性の検討を実施し、ごみ処理システムを再構築	□
総合評価	□	

施策内容	②次期ごみ処理施設の基本計画策定	
具体的な取組状況	1)次期ごみ処理施設の稼働に備え、方針の再構築中	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)次期ごみ処理施設の稼働に備え、方針の再構築中 （今後の対応） ごみ処理の広域化を含めたあらゆる可能性の検討を実施。次期ごみ処理施設の基本計画は、ごみ処理システムを再構築後に検討	□
総合評価	□	

(17) エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備（計画書 P65）

施策内容	①エネルギー回収型廃棄物処理施設(次期ごみ処理施設)の整備	
具体的な取組状況	1)次期ごみ処理施設整備・運営事業の発注に向け、必要な調査を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)次期ごみ処理施設等用地内における土壌汚染問題により遅延 汚染対策としての深度調査及び地下水モニタリング調査を実施 (今後の対応) ごみ処理の広域化を含めたあらゆる可能性の検討を実施。エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備方針は、ごみ処理システムを再構築後に検討	□
総合評価	□	

施策内容	②生活環境影響調査、発注仕様書作成等エネルギー回収施設整備に係る事業の実施	
具体的な取組状況	1)次期ごみ処理施設整備・運営事業に係る発注仕様書の作成	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)次期ごみ処理施設の整備及び運営事業を実施する事業者を選定するための発注支援業務委託を実施	○
総合評価	○	

(18) マテリアルリサイクル推進施設の整備（計画書 P65）

施策内容	①マテリアルリサイクル推進施設（破碎、圧縮、選別、梱包施設、再生、保管、展示等リサイクル推進に資する施設）の整備	
具体的な取組状況	1)次期ごみ処理施設整備・運営事業の発注に向け、必要な調査を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)次期ごみ処理施設等用地内における土壌汚染問題により遅延(再掲(17)-①) (今後の対応) ごみ処理の広域化を含めたあらゆる可能性の検討を実施。マテリアルリサイクル推進施設の整備方針は、ごみ処理システムを再構築後に検討	□
総合評価	□	



【3-3 最終処分の検討】

(19) 最終処分量の減量化の検討（計画書 P65）

施策内容	①焼却残渣の取扱について検討	
具体的な取組状況	1)現在、県外の自治体に搬出し、埋立て最終処分をしている焼却灰について、再生資材等として有効利用を行う事業者等の把握	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)他市の状況を調査し、受入れ自治体及び事業者について検討（今後の対応） 他自治体の事例や、焼却残渣の再利用を行っている業者を調査・研究し、導入に向けて検討	□
総合評価	□	

(20) 最終処分方法の検討（計画書 P65）

施策内容	①災害廃棄物の最終処分対応について検討	
具体的な取組状況	1)平成 29 年度に策定した「四街道市災害廃棄物処理計画」における木くず、金属くず、コンクリート片の再使用・再利用・再資源化について検討	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)再使用・再利用・再資源化が可能な災害廃棄物の処理先を確保するため、民間業者と災害時における協力体制について、協定の締結を検討（今後の対応） 令和 4 年度より、市内で廃棄物の破碎等を行っている業者と協定を締結し、市内で発生した災害廃棄物を安全に処理・処分する体制の構築を準備中	□
総合評価	□	

【3-4 適正な事業経営の推進】

(21) ストックマネジメント体制の整備（計画書 P65）

施策内容	①ストックマネジメント体制の整備	
具体的な取組状況	1)次期ごみ処理施設の整備の遅れにより中断中	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)次期ごみ処理施設の整備の遅れにより中断中 (今後の対応) ごみ処理の広域化を含めたあらゆる可能性の検討を実施。ストックマネジメント体制は、ごみ処理システムを再構築後に検討	□
総合評価	□	

## 第3章

### 施策の実施状況について（生活排水）

## 基本方針

生活排水処理基本計画体系は、基本理念として「水環境の保全に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、環境にやさしいまちの実現へ ～ 生活排水処理率100%に挑戦 ～ 」を掲げ、基本方針として「生活排水処理の推進」と「市民・事業者・行政の協働」、「適正維持管理の推進」の3つを示します。

水環境の保全には、し尿の処理と生活排水の処理を含めた生活排水処理の推進と、市民・事業者・行政が協働して、それぞれの役割を分担して、取り組んでいくことが大切です。

また、処理施設の適正維持管理の推進が大切です。このような考え方で計画の体系を整理します。3つの基本方針のもとで実施する各施策は15に集約して示します。

### 【基本方針1 生活排水処理の推進】

#### 【1-1 公共下水道の普及】

##### (1) 経済的助成制度（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域での早期接続を誘導するため、「四街道市水洗便所改造資金助成条例」の周知を働きかける	
具体的な取組状況	1)水洗便所改造資金の助成の実施	
担当部署	下水道課	
進捗状況 個別評価	1)助成対象者なし（令和2年度：助成対象者なし） （今後の対応） 下水道の新規整備に伴い、助成を再開	□
総合評価	□	

##### (2) 水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを、啓発活動をとおして呼びかける	
具体的な取組状況	1)市政だよりや産業まつりにおいて、下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯に対する接続の啓発活動の実施	
担当部署	下水道課	
進捗状況 個別評価	1)市政だより及び市HPにて下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯へ接続の啓発活動を実施 ※産業まつりは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施されず	◎
総合評価	◎	

【1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及】

(3) 経済的助成制度の周知（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域外での高度処理型合併処理浄化槽への転換設置を誘導するため、「四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金交付要綱」に基づき、転換設置者に対して経済的助成制度の活用を働きかける	
具体的な取組状況	1)四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金交付要綱に基づき、補助要件を満たす高度処理型合併処理浄化槽へ転換設置する世帯に対して補助金を交付	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)高度処理型合併処理浄化槽設置整備促進事業補助金交付件数：1件(令和2年度：5件)	○
総合評価	○	

(4) 水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①高度処理型合併処理浄化槽の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを、啓発活動をとおして呼びかける	
具体的な取組状況	1)市窓口等で啓発リーフレット等を配布し、市政だよりや市HPにおいて記事を掲載するなど啓発活動を実施 2)宅地開発業者に高度処理型合併処理浄化槽の設置を指導	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)啓発リーフレットの配布・ポスターの掲示 市政だより及び市HPにて掲載 2)開発行為事前協議の際、宅地開発業者に対して高度処理型合併処理浄化槽の設置を住民等に呼びかけるように指導：7件(令和2年度：10件)	◎  ◎
総合評価	◎	

【基本方針2 市民・事業者・行政の協働】

【2-1 市民の取組】

(5) 循環型社会のライフスタイルへの転換（計画書 P88）

施策内容	①大量消費、大量廃棄の生活スタイルから資源を大切にし、資源の循環に配慮した消費活動やライフスタイルへ転換し、水環境の保全に努める	
具体的な取組状況	1)家庭における浄化槽の適切な維持管理を周知	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)市政だより及び市HPにて掲載 浄化槽の適切な維持管理を市民に要請：1件(令和2年度：2件)	○
総合評価	○	

施策内容	②家庭でできる身近な生活排水対策を実践し、環境負荷の軽減に努める	
具体的な取組状況	1)市HPにおいて、簡単に実践可能な生活排水対策を紹介	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)生活排水対策が記載された市の環境白書を市HPに掲載すること で周知	◎
総合評価	◎	

施策内容	③水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力	
具体的な取組状況	1)市内各地域で行われる河川清掃等の環境美化活動に協力し、市においても清掃活動を実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)手繰川清掃（10月27日）の実施 市民参加人数：12人（令和2年度：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により募集を行わなかった） 四街道自然同好会による山梨地区ホタル自生地の清掃(年2回)	◎
総合評価	◎	

(6) 生活排水対策の実施（計画書P88）

施策内容	①公共下水道供用開始区域については下水道への早期接続、区域外については高度処理型合併処理浄化槽の設置等、適正な生活排水対策に努める	
具体的な取組状況	1)合併処理浄化槽の設置や、浄化槽の適切な維持管理について、チラシ等を活用した広報活動の実施 2)市政だよりや産業まつりにおいて、公共下水道未接続の世帯に対する接続の啓発活動を実施	
担当部署	環境政策課、下水道課	
進捗状況 個別評価	1)チラシ等の配布及び市政だより・市HP掲載 2)市政だよりにて下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯へ接続の啓発活動を実施（再掲(2)-①） ※産業まつりは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施されず	◎ ◎
総合評価	◎	

【2-2 事業者の取組】

(7) 自己処理の原則に基づく適正処理（計画書P88）

施策内容	①自己処理の原則に基づく、適正な排水処理及び環境負荷の低減	
具体的な取組状況	1)市内（公共下水道供用開始区域外）に事業所がある事業者に対し、雑排水等の処理には高度処理型合併処理浄化槽を用いるよう協力を要請	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)協力要請：2件（令和2年度：1件）	○
総合評価	○	

(8) 環境保全・資源保全意識の向上（計画書 P88）

施策内容	①事業者として環境保全意識及び資源保全意識の向上	
具体的な取組状況	1)市内（公共下水道供用開始区域外）に事業所がある事業者に対し、汚濁物質削減への協力を要請	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)施設内設備の適正な維持管理により、水質汚濁の原因となる物質を抑制するよう要請：6件（令和2年度：3件）	○
総合評価	○	

施策内容	②水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力	
具体的な取組状況	1)市内各地域で、事業者による河川清掃等の環境美化活動を実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)市内の4団体がそれぞれ環境美化活動を実施	◎
総合評価	◎	

### 【2-3 行政の取組】

(9) 本計画での基本理念及び基本方針の周知（計画書 P88）

施策内容	①生活排水処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者にも周知と行政の積極的行動	
具体的な取組状況	1)基本理念及び基本方針を市政だよりや市HPにおいて周知 2)印旛沼流域環境・体験フェアに参加し、四街道市ブースでPRを実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)市HP掲載 2)印旛沼流域環境・体験フェアは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施されず	○ △
総合評価	○	

施策内容	②環境保全、生活排水処理に関する情報の提供	
具体的な取組状況	1)市HPにおいて市の環境（生活排水を含む）に関する情報を提供	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)生活排水対策が記載された市の環境白書を市HPに掲載することで周知(再掲(5)-②)	◎
総合評価	◎	

(10) 計画達成のための施策等の決定（計画書 P88）

施策内容	①各種施策の実施計画の策定及び予算の確保	
具体的な取組状況	1)生活排水処理実施計画の策定 2)四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金の予算確保等を実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)生活排水処理計画を4月1日付けで策定し、市HPにて公表 2)高度処理型合併処理浄化槽設置整備促進事業補助金交付件数：1件(令和2年度：5件)(再掲(3)-①)	◎ ○
総合評価	○	



【基本方針3 適正維持管理の推進】

【3-1 適正な収集・運搬体制の維持】

(11) 状況変化に対応した適正な収集・運搬体制の維持（計画書 P89）

施策内容	①し尿及び浄化槽汚泥の収集量の変化に対応した、適正な収集・運搬体制を維持	
具体的な取組状況	1)市内で発生するし尿量及び浄化槽汚泥量と収集・運搬業者の収集能力とを比較検討し、適正な体制を維持	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)令和3年度末の浄化槽清掃業等の許可更新時に、汚泥発生量と収集量とを比較検討し、現状の体制が適正であると判断	◎
総合評価	◎	

(12) 環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P89）

施策内容	①環境と安全に配慮した収集・運搬効率の向上	
具体的な取組状況	1)許可業者の作業計画を分析し、収集・運搬効率の最適化	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)令和3年度末の浄化槽清掃業等の許可更新時に、業者の作業計画は問題ないものであると判断。また、収集車の更新時には環境に配慮した低公害型車両の導入を検討するよう依頼	○
総合評価	○	

【3-2 中間処理施設の適正管理】

(13) 浄化槽の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①法的に義務付けられている設置者の責務等について周知及び浄化槽の適正な維持管理の推進	
具体的な取組状況	1)市HP等において、法令により定められている浄化槽の検査や清掃について広報を実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)市政だより及び市HPにて掲載	◎
総合評価	◎	

(14) し尿・浄化槽汚泥の中間処理施設の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①汚泥再生処理センターの適正な維持管理及び機能の保全	
具体的な取組状況	1)汚泥を活用した肥料を市民農園等に配布し、再生汚泥の循環を実施	
担当部署	廃棄物対策課、印旛衛生施設管理組合	
進捗状況 個別評価	1)市民農園で配布した再生肥料の配布数：210袋 (令和2年度：200袋) 四街道市民全体に配布した再生肥料の配布数：8,227袋 (令和2年度：7,788袋)	◎
総合評価	◎	

施策内容	②受入品質の変化に対応した適正処理（し尿の減少、浄化槽汚泥の増量に適正に対応）	
具体的な取組状況	1)(14)①の施策により、肥料の供給先を確保	
担当部署	廃棄物対策課、印旛衛生施設管理組合	
進捗状況 個別評価	1)他市町村に搬出した再生肥料：509.42t(令和2年度：526.59t) 四街道市民全体に配布した再生肥料の配布量：90.50t (令和2年度：85.67t)	◎
総合評価	◎	

(15) 公共広域下水道施設の適正な維持管理（計画書 P89）

施策内容	①公共広域下水道処理施設の適正な維持管理	
具体的な取組状況	1)市HP等において、下水道の適正な維持管理を周知	
担当部署	下水道課、印旛沼流域下水道花見川終末処理場	
進捗状況 個別評価	1)施設見学、出張下水道教室、パンフレットの配布といった下水道知識の普及啓発事業を通して下水道の適正な維持管理を周知	◎
総合評価	◎	

## 第4章

### 指標の進捗状況の評価

## 指標の進捗状況の評価

本計画は、各種施策の実効性をより確実なものとするため、計画の具体的な目標を数値化して定めます。

### 実績と数値目標（ごみ）

項目	前計画 最終年度 の実績	当初計画 中間 目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	現状の 実績	最終年度 の数値目標
	H27年度	R2年度	R3年度	R3年度	R7年度
1人1日あたり 総排出量 (生活系ごみ+ 事業系ごみ)	832g/人日	793g/人日	764g/人日	784g/人日	755g/人日
1人1日あたり 家庭系ごみ排出量	554g/人日	497g/人日	502g/人日	530g/人日	495g/人日
リサイクル率	23.4%	26.4%	22.8%	21.3%	23.9%
最終処分率	9.9%	9.3%	9.3%	9.2%	9.2%

※1人1日あたり総排出量、1人1日あたり家庭系ごみ排出量、最終処分率は数値目標を下回ること、リサイクル率は上回ることを目指します。

### 実績と数値目標（生活排水）

項目	前計画 最終年度 の実績	当初計画 中間 目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	現状の 実績	最終年度 の数値目標
	H27年度	R2年度	R3年度	R3年度	R7年度
公共下水道 接続人口	77,182人	79,351人	79,421人	80,579人	79,699人
合併処理浄化槽人口	8,812人	10,590人	10,763人	10,806人	11,452人
単独処理浄化槽人口	1,928人	1,846人	1,829人	1,340人	1,763人
し尿汲み取り人口	3,519人	3,362人	3,330人	2,966人	3,204人

※公共下水道接続人口、合併処理浄化槽人口は数値目標を上回ること、単独処理浄化槽人口、し尿汲み取り人口は下回ることを目指します。

評価指標	1人1日あたり総排出量(生活系ごみ+事業系ごみ)																															
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度末)		793g/人日																													
	最終年度 (R7年度末)		755g/人日																													
年度末 実績	H27年度	832g/人日	R元年度	813g/人日																												
	H28年度	829g/人日	R2年度	822g/人日																												
	H29年度	801g/人日	R3年度	784g/人日																												
	H30年度	794g/人日																														
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量 (g/人日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>832</td></tr> <tr><td>H28</td><td>829</td></tr> <tr><td>H29</td><td>801</td></tr> <tr><td>H30</td><td>794</td></tr> <tr><td>R1</td><td>813</td></tr> <tr><td>R2</td><td>822</td></tr> <tr><td>R2 (目標)</td><td>793</td></tr> <tr><td>R3</td><td>784</td></tr> <tr><td>R3 (目標)</td><td>764</td></tr> <tr><td>R4</td><td>761</td></tr> <tr><td>R5</td><td>759</td></tr> <tr><td>R6</td><td>757</td></tr> <tr><td>R7</td><td>755</td></tr> </tbody> </table>				年度	排出量 (g/人日)	H27	832	H28	829	H29	801	H30	794	R1	813	R2	822	R2 (目標)	793	R3	784	R3 (目標)	764	R4	761	R5	759	R6	757	R7	755
	年度	排出量 (g/人日)																														
H27	832																															
H28	829																															
H29	801																															
H30	794																															
R1	813																															
R2	822																															
R2 (目標)	793																															
R3	784																															
R3 (目標)	764																															
R4	761																															
R5	759																															
R6	757																															
R7	755																															
	○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																															
評価	<p>1人1日あたり総排出量(原単位)は平成30年度までは減少傾向にあったものの、令和元年度の災害や令和2年度の新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響により一時的に増加に転じた。</p> <p>令和2年9月に導入した家庭系ごみの処理手数料制度により、令和3年度は排出量が減少しており、今後も減少を見込んでいる。</p>																															

評価指標	1人1日あたり家庭系ごみ排出量																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度末)		497g/人日																																					
	最終年度 (R7年度末)		495g/人日																																					
年度末 実績	H27年度	554g/人日	R元年度	551g/人日																																				
	H28年度	552g/人日	R2年度	564g/人日																																				
	H29年度	543g/人日	R3年度	530g/人日																																				
	H30年度	540g/人日																																						
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績 (g/人日)</th> <th>目標 (g/人日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>554</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>552</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>543</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>540</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>551</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>564</td><td>497</td></tr> <tr><td>R3</td><td>530</td><td>502</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td><td>500</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>498</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td><td>497</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td><td>495</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績 (g/人日)	目標 (g/人日)	H27	554		H28	552		H29	543		H30	540		R1	551		R2	564	497	R3	530	502	R4		500	R5		498	R6		497	R7		495
	年度	実績 (g/人日)	目標 (g/人日)																																					
H27	554																																							
H28	552																																							
H29	543																																							
H30	540																																							
R1	551																																							
R2	564	497																																						
R3	530	502																																						
R4		500																																						
R5		498																																						
R6		497																																						
R7		495																																						
	○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																																							
評価	<p>1人1日あたり家庭系ごみ排出量（原単位）は総排出量と同様、平成30年度までは減少傾向にあったものの、令和元年度の災害や令和2年度の新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響により一時的に増加に転じた。</p> <p>令和2年9月に導入した家庭系ごみの処理手数料制度により、令和3年度は排出量が減少しており、今後も減少を見込んでいる。</p>																																							

評価指標	リサイクル率																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度末)		26.4%																																					
	最終年度 (R7年度末)		23.9%																																					
年度末 実績	H27年度	23.4%	R元年度	21.4%																																				
	H28年度	22.5%	R2年度	21.1%																																				
	H29年度	22.3%	R3年度	21.3%																																				
	H30年度	22.9%																																						
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>23.4</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>22.5</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>22.3</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>22.9</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>21.4</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>21.1</td><td>28.4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>21.3</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>22.8</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td>23.1</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td>23.3</td><td></td></tr> <tr><td>R7</td><td>23.6</td><td></td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H27	23.4		H28	22.5		H29	22.3		H30	22.9		R1	21.4		R2	21.1	28.4	R3	21.3		R4	22.8		R5	23.1		R6	23.3		R7	23.6	
	年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																					
H27	23.4																																							
H28	22.5																																							
H29	22.3																																							
H30	22.9																																							
R1	21.4																																							
R2	21.1	28.4																																						
R3	21.3																																							
R4	22.8																																							
R5	23.1																																							
R6	23.3																																							
R7	23.6																																							
	○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																																							
評価	<p>リサイクル率の実績値は横ばいが続いており、目標とした数値を下回っているのが現状である。</p> <p>リサイクル率の目標を達成するには、市民・事業者・行政が一体となった一層の努力が必要であると思われる。</p>																																							

評価指標	最終処分率			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度末)		9.3%	
	最終年度 (R7年度末)		9.2%	
年度末 実績	H27年度	9.9%	R元年度	9.5%
	H28年度	9.5%	R2年度	9.6%
	H29年度	9.9%	R3年度	9.2%
	H30年度	9.1%		
進捗 グラフ				
	○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。			
評価	最終処分率は、ごみの排出量の減少と再資源化に伴い、概ね目標値に達している。数値は年度ごとに上下していることから、今後も引き続きこの数値が持続できるよう努力する必要がある。			



評価指標	公共下水道接続人口																											
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度末)		79,351人																									
	最終年度 (R 7 年度末)		79,699人																									
年度末 実績	H27年度	77,182人	R元年度	79,282人																								
	H28年度	77,402人	R 2 年度	79,567人																								
	H29年度	77,781人	R 3 年度	80,579人																								
	H30年度	78,334人																										
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>接続人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>77,182</td></tr> <tr><td>H28</td><td>77,402</td></tr> <tr><td>H29</td><td>77,781</td></tr> <tr><td>H30</td><td>78,334</td></tr> <tr><td>R1</td><td>79,282</td></tr> <tr><td>R2</td><td>79,567</td></tr> <tr><td>R3</td><td>80,579</td></tr> <tr><td>R4</td><td>79,490</td></tr> <tr><td>R5</td><td>79,560</td></tr> <tr><td>R6</td><td>79,629</td></tr> <tr><td>R7</td><td>79,699</td></tr> </tbody> </table>				年度	接続人口	H27	77,182	H28	77,402	H29	77,781	H30	78,334	R1	79,282	R2	79,567	R3	80,579	R4	79,490	R5	79,560	R6	79,629	R7	79,699
	年度	接続人口																										
H27	77,182																											
H28	77,402																											
H29	77,781																											
H30	78,334																											
R1	79,282																											
R2	79,567																											
R3	80,579																											
R4	79,490																											
R5	79,560																											
R6	79,629																											
R7	79,699																											
○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																												
評価	公共下水道の接続人口は、市内における接続区域の人口の増加により、予測を超えて上昇している。																											

評価指標	合併処理浄化槽人口																											
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度末)		10,590人																									
	最終年度 (R 7 年度末)		11,452人																									
年度末 実績	H27年度	8,812人	R元年度	10,308人																								
	H28年度	9,277人	R 2 年度	10,634人																								
	H29年度	9,529人	R 3 年度	10,806人																								
	H30年度	10,015人																										
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>8,812</td></tr> <tr><td>H28</td><td>9,277</td></tr> <tr><td>H29</td><td>9,529</td></tr> <tr><td>H30</td><td>10,015</td></tr> <tr><td>R1</td><td>10,308</td></tr> <tr><td>R2</td><td>10,634</td></tr> <tr><td>R3</td><td>10,806</td></tr> <tr><td>R4</td><td>10,935</td></tr> <tr><td>R5</td><td>11,108</td></tr> <tr><td>R6</td><td>11,280</td></tr> <tr><td>R7</td><td>11,452</td></tr> </tbody> </table>				年度	人口	H27	8,812	H28	9,277	H29	9,529	H30	10,015	R1	10,308	R2	10,634	R3	10,806	R4	10,935	R5	11,108	R6	11,280	R7	11,452
	年度	人口																										
H27	8,812																											
H28	9,277																											
H29	9,529																											
H30	10,015																											
R1	10,308																											
R2	10,634																											
R3	10,806																											
R4	10,935																											
R5	11,108																											
R6	11,280																											
R7	11,452																											
○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																												
評価	<p>人口増加に伴い、合併処理浄化槽人口も順当に増加している。  今後も増加傾向が続けられ、目標とした数値に達することができるよう支援を継続する。</p>																											

評価指標	単独処理浄化槽人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度末)		1,846人																																					
	最終年度 (R7年度末)		1,763人																																					
年度末 実績	H27年度	1,928人	R元年度	1,862人																																				
	H28年度	1,938人	R2年度	1,618人																																				
	H29年度	1,951人	R3年度	1,340人																																				
	H30年度	1,922人																																						
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>1,928</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,938</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,951</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,922</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,862</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,618</td><td>1,846</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,340</td><td>1,829</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td><td>1,813</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>1,796</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td><td>1,780</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td><td>1,763</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	目標値	H27	1,928		H28	1,938		H29	1,951		H30	1,922		R1	1,862		R2	1,618	1,846	R3	1,340	1,829	R4		1,813	R5		1,796	R6		1,780	R7		1,763
	年度	実績値	目標値																																					
H27	1,928																																							
H28	1,938																																							
H29	1,951																																							
H30	1,922																																							
R1	1,862																																							
R2	1,618	1,846																																						
R3	1,340	1,829																																						
R4		1,813																																						
R5		1,796																																						
R6		1,780																																						
R7		1,763																																						
○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																																								
評価	<p>単独処理浄化槽人口は、平成13年に設置が禁止された単独処理浄化槽の老朽化等により合併処理浄化槽への転換設置が進んでいること、市内の未接続区域における合併処理浄化槽人口の割合が増加していることにより、令和元年度から3年度にかけ著しく減少している。</p>																																							

評価指標	し尿汲み取り人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度末)		3,362人																																					
	最終年度 (R7年度末)		3,204人																																					
年度末 実績	H27年度	3,519人	R元年度	3,393人																																				
	H28年度	3,515人	R2年度	3,330人																																				
	H29年度	3,645人	R3年度	2,966人																																				
	H30年度	3,466人																																						
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>3,519</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,515</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,645</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,466</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>3,393</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>3,330</td><td>3,362</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2,966</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>3,299</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td>3,267</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td>3,236</td><td></td></tr> <tr><td>R7</td><td>3,204</td><td>3,204</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	目標値	H27	3,519		H28	3,515		H29	3,645		H30	3,466		R1	3,393		R2	3,330	3,362	R3	2,966		R4	3,299		R5	3,267		R6	3,236		R7	3,204	3,204
	年度	実績値	目標値																																					
H27	3,519																																							
H28	3,515																																							
H29	3,645																																							
H30	3,466																																							
R1	3,393																																							
R2	3,330	3,362																																						
R3	2,966																																							
R4	3,299																																							
R5	3,267																																							
R6	3,236																																							
R7	3,204	3,204																																						
○印は、目標とした数値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																																								
評価	し尿汲み取り人口は、合併処理浄化槽への転換設置が進んでいること、市内の未接続区域における合併処理浄化槽人口の割合が増加していることにより、令和2年度から3年度にかけ著しく減少している。																																							

## 第5章

### まとめ

## まとめ

進捗状況についての点検・評価の結果から、具体的施策の総合評価については、全60項目のうち、29項目が「◎：実施又は実施中（順調に進捗している）」（48.3%）、21項目が「○：実施又は実施中（改善の余地あり）」（35.0%）、0項目が「△：実施に向け準備中」（0%）、10項目が「□：調査検討中又は未実施」（16.7%）と評価され、ほとんどの施策で概ね取り組みがなされていることが確認できました。

また一方で、「□：調査検討中又は未実施」とされた10項目の施策は、ほとんどがごみ関連の「基本方針3 適正処理の構築」で掲げられている施策であり、新しい収集体制や再資源化体制の構築の面で遅れがみられる傾向にあります。「□：調査検討中又は未実施」と評価した施策につきましては、早期実施に向け検討を行い、実施できるよう努めてまいります。

指標として数値目標が定められている項目については、ごみ関連の4項目のうち、最終処分率を除く3項目が年度の目標に達しておらず、特にリサイクル率は伸び悩みがみられます。一方、生活排水関連の4項目はいずれも年度の目標に達しており、合併処理浄化槽人口を除く3項目はすでに目標年度である令和7年度の数値に達しています。

今後も本計画で策定した目標の達成に向けて、効率的に施策を推し進めてまいります。

### 数値目標の達成状況一覧

項目	達成状況
1人1日あたり総排出量	○
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	○
リサイクル率	△
最終処分率	◎
公共下水道接続人口	◎
合併処理浄化槽人口	◎
単独処理浄化槽人口	◎
し尿汲み取り人口	◎

◎：年度の数値目標に達している

○：年度の数値目標に達していないが、前年度より目標年度の数値に近づいている

△：年度の数値目標に達しておらず、横ばいである

□：年度の数値目標に達しておらず、前年度より目標年度の数値から遠ざかっている

## 資料

- 1)四街道市一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）
- 2)四街道市一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）概要版



四街道市一般廃棄物処理基本計画  
令和3年度年次報告書

令和4年12月

発行 四街道市  
千葉県四街道市鹿渡無番地  
TEL 043-421-6132  
FAX 043-424-2013